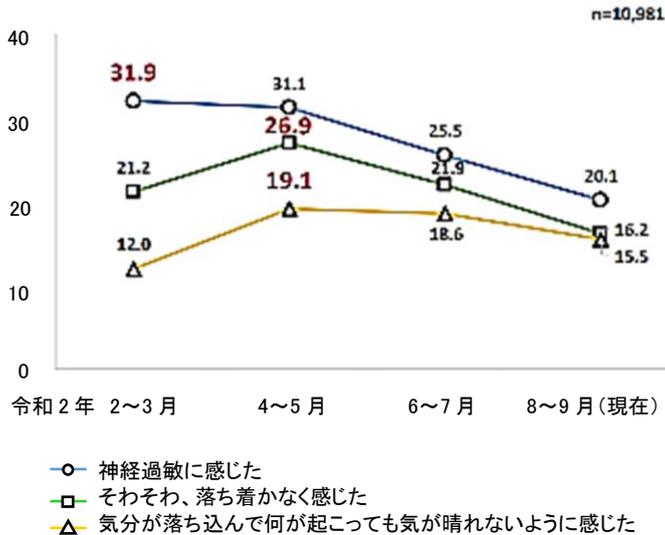


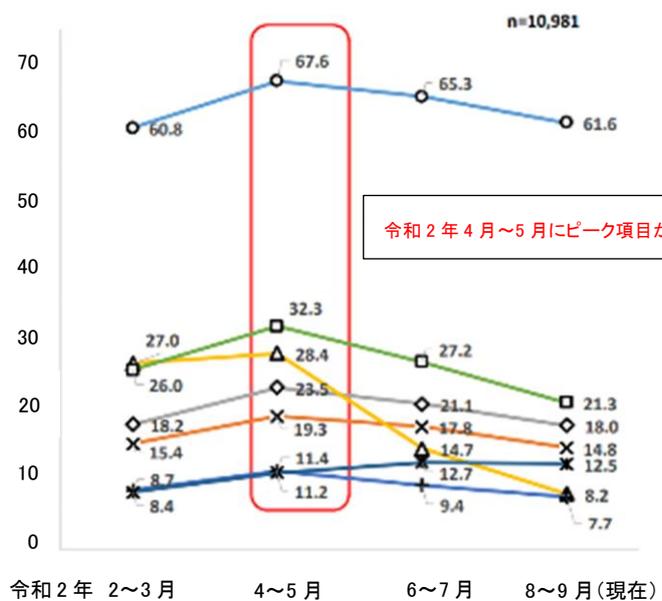
新型コロナウイルスの流行中のこころの維持について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大およびこれに伴う行動制限等の対策により、感染に対する不安や行動変容に伴うストレスなど国民の心理面に多大な影響が生じている可能性があります。厚生労働省は15歳以上のインターネットモニターを対象に「新型コロナウイルス感染症に係るメンタルヘルスに関する調査」が令和2年9月11日(金)～9月14日(月)に実施されました。

「メンタルヘルスの状況」(時期別の推移)



「不安対象の変化」(時期別推移)



新型コロナウイルスの感染拡大に伴うメンタルヘルスの状況を時系列でみると、「そわそわ、落ち着かなく感じた」と回答した人の割合は、2～3月をピークに徐々に低くなり、8月～現在(9月)までの間に11.8ポイント低下しています。「神経過敏に感じた」「気分が落ち込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた」と回答した人の割合は4～5月がピークとなっています。

新型コロナウイルスの感染拡大に際して不安に思ったことを時系列でみると、いずれの時期も「自分や家族の感染への不安」が6割以上と最も高くなっています。また、多くの項目が4～5月をピークに徐々に低くなっています。特に「生活用品などの不足への不安」は、4～5月では28.4%でしたが、8月～現在(9月)まででは8.2%まで低下しています。一方「差別や偏見に対する不安」は、6～7月が12.7%とピークで8月～現在(9月)まででも12.5%とほとんど低下していません。

- 自分や家族の感染への不安
- 家族、友人、職場など人間関係の変化に対する不安
- △ 自分や家族の仕事や収入に関する不安
- ◇ 生活用品などの不足への不安
- × 自分や家族の勉強や進学に関する不安
- ＊ 自粛等による生活の変化に対する不安
- ＋ 差別や偏見に対する不安



「第73回人権週間」の巻

法務省の人権擁護機関は、12月4日から12月10日を「人権週間」と定め、全国的に人権啓発活動を展開し、人権尊重思想の普及高揚を呼びかけています。しかし、今なお新型コロナウイルス感染症の感染者等に対する偏見や差別、インターネット上における誹謗中傷、いじめや虐待、さらに外国人や障害のある人、ハンセン病元患者やその家族などに対する偏見や差別など、様々な人権問題が依然として存在しています。これらの問題を解決し、持続可能な開発目標(SDGs)が掲げる「誰一人取り残さない」社会を実現するには、私たち一人一人が人権尊重の重要性を改めて認識し、他人の人権に配慮した行動を取ることが大切ではないでしょうか。

お口と体の雑学クイズ

- (1) パンダの歯の特徴は？
a. 生え変わらない b. 修復可能 c. 歯がない
- (2) コアラの歯は何本？
a. 20本 b. 28本 c. 32本
- (3) カモノハシの口の特徴は？
a. 生え変わらない b. 修復可能 c. 歯がない



※答え: (1)b (2)a (3)c

「誰か」のことじゃない。



人権週間
12月4日～10日